

VOL.36 2016 AUTUMN



表紙：中庭を2号館より眺める（右奥は7階建講義棟）

NODA ARCHITECTURAL ASSOCIATION
The Alumni Association of Science since 1998.
of Tokyo University

野田建築会第 10 回定期総会報告

第9期会長 五十嵐洋也 (S 53 年卒)

野田建築会の定期総会は2年毎に5月下旬に行われ、今年は第10回目となり、通算18年間の活動をしてきました。

来年は理工学部50周年で、理工学部ではその50周年を記念し、教育改革やイベントなどを行います。今年の総会では、北村春幸学部長に冒頭ご挨拶をしていただき、理工学部の50年と今後の50年についてお話がありました。

野田建築会は50周年記念事業に協力しており、ますます同窓会組織を充実・発展させる方向を目標としています。

さて、総会議案は末尾記載の通りで、この2年間(平成26年度、27年度)の活動報告と今後の2年間(平成28年度、29年度)の活動計画について、各部会の部会長より報告と提案がありました。

事業部会での主な行事は、OBと語る会、OBリクレーターと語る会、建築見学会、NAA賞授与(学位記授与式)で、OB同志のほか現役学生との交流をはかっています。

会報部会では、年に2回春秋に会報を発行しており、大学やOBの近況を提供しています。野田建築会のホームページからも閲覧することができます。

名簿部会では、日々名簿更新作業を継続的に進めています。現時点での全会員数は6,283名、その内住所がわかっている方が4,066名です。会費納入会員が247名です。

情報部会では、NAAサイトの運営と月2回のメールマガジン発行を行っています。

50周年事業関連部会では、東京物理学校を祖とする理窓会の関連団体への加入が議決したことにより、理工学部50周年記念事業に向け、理窓会とさらなる協力体制を整えることができました。

会計報告と役員改選は以下の通りとなりました。



講義棟ホール

<第8号議案> (決算)

| | 2014年(平成26年)度 | 2015年(平成27年)度 |
|----------|---------------|---------------|
| 前回繰越金 | 2,259,195 | 2,202,616 |
| 収入 | 837,084 | 894,144 |
| 年会費 | 153人 459,000 | 153人 459,000 |
| 卒業生入会金 | 126人 378,000 | 145人 435,000 |
| 寄付 | 0 | 0 |
| その他(利息等) | 84 | 144 |
| 支出 | 893,663 | 819,784 |
| 一般経費 | 893,663 | 819,784 |
| 次期繰越金 | -56,579 | 74,360 |
| 当期残高 | 2,202,616 | 2,276,976 |

<第8号議案> (予算)

| | 2016年(平成28年)度 | 2017年(平成29年)度 |
|----------|----------------|----------------|
| 前回繰越金 | 2,276,976 | 2,329,676 |
| 収入(会費) | 350人 1,050,000 | 370人 1,110,000 |
| 支出 | 997,300 | 1,108,900 |
| 事業部会 | 70,000 | 70,000 |
| 会報部会 | 752,500 | 887,100 |
| 名簿部会 | 29,000 | 6,000 |
| 情報部会 | 115,800 | 115,800 |
| 50周年関連部会 | 20,000 | 20,000 |
| 会計 | 10,000 | 10,000 |
| 次期繰越金 | 52,700 | 1,100 |
| 当期残高 | 2,329,676 | 2,330,776 |

<総会議案>

- 第1号議案 事業部会(当期活動報告と来期活動計画)
- 第2号議案 会報部会(当期活動報告と来期活動計画)
- 第3号議案 名簿部会(当期活動報告と来期活動計画)
- 第4号議案 情報部会(当期活動報告と来期活動計画)
- 第5号議案 50周年関連部会(当期活動報告と来期活動計画)
- 第6号議案 野田建築会会則改正の件
- 第7号議案 理窓会関連団体加入の件
- 第8号議案 会計および監査
- 第9号議案 任期満了に伴う役員改選について
(当期:平成26年度~27年度 来期:平成28年度~29年度)

<第9号議案> [注記] 常任幹事の※印は、部会長を示す。

| 役員 | |
|----------------|---|
| 会長 | 山崎晃弘(S51卒) |
| 副会長 | 涌井栄治(S60卒) 粟飯原功一(S60卒) 高安重一(H01卒) |
| 事務局長 | 五十嵐洋也(S53卒) 白岩和浩(S60卒) |
| 会計 | 八田直人(S55卒) 熊井和雄(S54卒) |
| 監査役 | 立見栄司(S45卒) 菊地利武(S46卒) |
| 常任幹事 | |
| 事業部会 | 佐久間達也※(H05卒) 瀬沼央(S53卒) 五十嵐洋也(兼任) 白岩和浩(兼任) |
| 会報部会 | 山崎晃弘※(兼任) 中口裕太(H21卒) 有岡三恵(H02卒) 鳥山暁子(H13卒) |
| 名簿部会 | 涌井栄治※(兼任) 好土崎倫子(兼任) |
| 情報部会 | 高安重一※(兼任) 好土崎倫子(S60卒) |
| 50周年 事業関連部会 | 山崎晃弘※(兼任) 五十嵐洋也(兼任) 八田直人(兼任) 白岩和浩(兼任) 森本修弥(S57卒) 出塚哲也(S59卒) 星合善文(S63卒) 堀井芳郎(S62卒) 菱崎嘉昭(S63卒) 野原聰哲(S63卒) 佐久間達也(兼任) 勝目高行(H05卒) 宮下信頭(H07卒) 秋山貴洋(H10卒) 坂上雅美(H13卒) 中口裕太(兼任) |

総会終了後、カナル会館で恒例の懇親会を開催しました。ここでは、学科主任の永野正行教授にご挨拶いただき、盛会のうちに全行程を終了しました。

第 10 期新会長挨拶

山崎晃弘 (S 51 年卒)

1953 年 東京都台東区生まれ
 1976 年 東京理科大学理工学部建築学科卒業 (上原孝雄研究室 1 期生)
 2005 年 総合商社(株)トーメン (2006 年から豊田通商) などを経て、工場改修の設計・施工を専門とする(有)ヤマザキ建築企画設計を設立、代表取締役。ほかに NPO 法人日本景観フォーラム 理事。
 2016 年 新たに建築研究開発部門として、GMO 建築総合研究所を設立、主宰。



野田建築会は 2016 年 5 月 28 日、会員数 6283 名のうち 127 名の出席者 (委任状含む) のもと、第 10 回定期総会を開催し、滞りなく終了しました。

1998 年 (平成 10 年) に発足した野田建築会も 18 年を経て本年は第 10 期に入り、2018 年には 20 周年を迎えることになります。ひとえに卒業生の皆様にはご理解ならびにご支援を賜わり、厚く御礼申し上げます。併せて、今日まで培ってきた歴代の会長はじめ役員の方々に深く感謝いたします。

さて、野田建築会は、会報の発行 (年 2 回)、OB と語る会 (在校生との交流)、建築見学会 (建築技術の向上)、設計 NAA 賞の授与 (大学での審査を経て卒業式時)、メルマガの発信 (在校生や OB の近況寄稿) など会員の交流を目的とした活動を行なってきました。

これらを踏襲するとともに、今後は親睦をさらに深めるため、研究室 OB 会や企業 OB 会から野田建築会役員会への参加をいただく所存で、既に今期から大幅な増員加入を行なっています。

一方、2017 年に迎える理工学部 50 周年記念事業には、野田建築 50 周年記念事業実行委員会に野田建築会は積極的に参画しています。

この大きな命題に向かって、理窓会 (卒業生同窓会) や築理会 (工学部建築学科同窓会) との強い絆とともに、大学との密な連携を得て、2017 年野田建築 50 周年記念事業を成功に導けるよう、また今日まで胸に秘めた理科大卒の誇りへの恩返しを果たせるよう努めさせていただきます。

つきましては、なお一層のご指導ならびにご鞭撻をいただきますよう宜しくお願い申し上げます。

2016 年度メールマガジン担当者一覧 (学生幹事)

| 研究室名 | 学 年 | 氏 名 |
|------|-----|--------|
| 伊藤研 | B4 | 本間 陽大 |
| | M1 | 柴田 史奈 |
| | M2 | 宋 歆月 |
| 井上研 | B4 | 舟越 利紗 |
| | M1 | 粟 誠悟 |
| | M2 | 小林 晃大 |
| 岩岡研 | B4 | 棚橋 優樹 |
| | M1 | 田中 愛 |
| | M2 | 松田 岳史 |
| 大宮研 | M1 | 高橋 京平 |
| | M2 | 鶴澤 陵麿 |
| | M2 | 佐藤 拓 |
| 兼松研 | B4 | 吉田 一星 |
| | M1 | 丹羽 章暢 |
| | M2 | 小山 拓 |
| 垣野研 | B4 | 廣瀬 雄一郎 |
| | B4 | 高橋 傑 |
| | B4 | 石山 紘己 |

| 研究室名 | 学 年 | 氏 名 |
|------|-----|-------------|
| 北村研 | B4 | 八戸 孝聡 |
| | M1 | 小川 晋平 |
| | M2 | 原 憲治 |
| 衣笠研 | B4 | 米光 秀哉 |
| | M1 | 雨宮 彰弘 |
| | M2 | 月俣 慶彦 |
| 永野研 | B4 | 山下 圭吾 |
| | M1 | 佐藤 航平 |
| | M2 | 成島 慶 (代表幹事) |
| 安原研 | B4 | 入江 慎 |
| | M1 | 加藤 孝章 |
| | M2 | 林山 赳大 |
| 山名研 | B4 | 加藤 恭輔 |
| | M1 | 中村 遥 |
| | M2 | 笠原 峻 |
| 吉澤研 | B4 | 片山 雄大 |
| | M1 | 嶋澤 拓真 |
| | M2 | 田中 優美 |

新任准教授のご挨拶

垣野 義典 (かきのよしのり)



1975年 京都生まれ
1999年 東京理科大学理工学部建築学科卒業
2001年 東京理科大学大学院理工学研究科建築学専攻修了(初見学研究室)
2004年 東京大学大学院工学研究科建築学専攻修了(長澤泰研究室)
2008年 東京理科大学理工学部建築学科 助教
2011年 フィンランド・アアルト大学(旧ヘルシンキ工科大学) 客員研究員
2016年 豊橋技術科学大学建築・都市システム学系准教授
2016年 現職

この2016年4月より理工学部建築学科の准教授として着任しました。野田キャンパス2号館4階は、学部から修士課程、さらに4年間助教として過ごし、育てていただいた特別な場所です。その場所に3度ご縁をいただいて戻ってきたこと、20歳下の後輩達の成長に関われることをとてもうれしく、光栄に思っています。

私の専門は「建築計画学」で、基本的にはフィールドワークから始まります。空間を利用している人達を観察し「なぜこの人達は、このような空間の使い方をするのか?」、その因果関係を考察することから、建築の設計に活かしていきます。今進めている研究の柱は、学校や子どもの環境です。2005年からスウェーデンやフィンランド、オランダなど海外の魅力的な

空間をもつ学校や保育園を研究してきました。それぞれ日本とは文化も歴史も異なる中で培われた魅力を持ち、日本で建築を設計する際に参考にできるものばかりです。学校建築や保育園は日本で変革期にあり、新しい建築の提案が求められています。子ども一人一人が学習しやすい環境を得ることができるよう、少しでも研究結果を日本の社会に投影していきたいと思えます。

理科大教員として、まだまだ右も左もわからない若輩者ですが、今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。



オランダの建築家ヘルマン・ヘルツベルハーが設計した小学校建築での一幕

新任助教のご挨拶



李 在永 (イ ジェヨン)

1981年 韓国ソウル生まれ
2006年 湖西大学消防学科卒業(韓国)
2006年~2007年 五星防災公営施工部(韓国)
2007年~2009年 湖西大学大学院消防学学科修士課程修了
2010年~2016年 京都大学大学院工学研究科建築学専攻博士課程修了、博士(工学)
2011年~2013年 日本学術振興会特別研究員(DC)
2016年 東京理科大学大宮研究室 助教(現職)

はじめまして。今年度から大宮研究室の助教に着任した李在永と申します。韓国出身として、2009年から日本の生活をはじめました。2010年と2011年には学生の身分として東京理科大学野田キャンパスにある火災科学研究センター実験棟で実験を行った経験がありまして、とってとても大事な経験だと思ったことがあります。同じ場所で教員と言う身分として立つことになり大変栄光だと思っております。

専門は火災安全工学です。日本では珍しいですが、学部は消防学を専攻として、火災原論、消防や制煙設備、消防化学や危険物の管理などを学びました。また、1年程度の社会経験もありましたが、その時には建築物の火災安全性を確保する手段は主に消火や制煙設備だけだと思っていました。

ただし、大学院では建築学の観点から火災安全を学び、耐火安全性と避難安全性に関する研究は新しく考えの転換の機会になりました。そうして、修士と博士論文のテーマは高温下での高強度コンクリートの爆裂現象に対して対策開発や爆裂機構を解明するための研究でした。未だ残った課題が多くありまして、引き続き研究を続けております。

長い学生の生活を終えて、研究者・教員としての生活を始める段階でございます。まだまだ足りない部分も多くありますが、OB/OGの皆様からのご指導・鞭撻の程お願ひいたします。



Andrew Burgess (バージェス・アンドリュー)

1976年 ニュージーランド生まれ
2000年 オークランド大学 NICAI 学部 建築学科卒業
2000~2001年、2008年~2010年 オークランド大学 NICAI 学部建築学科 非常勤教師
2006~2007年 Pascall+Watson 設計事務所(ロンドン)
2008~2010年 Architectus 設計事務所(オークランド)
2012年 東京大学大学院新領域創成科学研究科社会文化環境学専攻 修士課程修了(大野秀敏研究室)
2015年 東京大学大学院工学研究科建築学専攻博士課程修了(太田浩史研究室)
2016年~東京理科大学理工学部建築学科 助教(伊藤香織研究室)

2016年4月から東京理科大学理工学部建築学科の助教として伊藤香織研究室に着任しました。

ニュージーランド出身。大阪とロンドンにも住んだことがあり様々な環境や文化に触れてきました。考え方、テクノロジーや情報などにより新しいライフスタイルが生まれ、どこの街でもコミュニティが変化し続ける姿を感じてきました。

現在人口の変化や新しいテクノロジーなどより人々のつながり方が変化してきています。そして、コミュニティと建築や都市環境の関係も変化してきています。

現在の研究では、都市環境の構造を分かりやすくする為に、社会学、経済学、地理学、ネットワーク理論などからのアイデアを採用しています。私は日常生活の中での人々の行動が都市環境を構築するのにどの様に関係しているのかと言う事に興味を持っています。同時に建築はこれらの分野にどのように貢献できるかを検討することも必要だと思っております。

ライフスタイルの変化に応じて環境が社会一体性を維持し、新しいコミュニティを作成するには、これに反応する必要があります。建築と都市デザインの役割は複数のライフスタイルをサポートするための機会を作ることだと思えます。



松田 頼征 (まつだ よりまさ)

1986年 愛知県生まれ
 2010年 武蔵工業大学 (現・東京都市大学) 工学部卒
 2012年 東京工業大学総合理工学研究科 修士課程修了
 2016年 東京工業大学総合理工学研究科 博士課程修了
 2016年～東京理科大学北村研究室 助教 (現職)

はじめまして。今年度から北村研究室の助教に着任しました松田頼征です。いままで自身の研究一辺倒の生活を送ってきましたが、北村研の幅広い研究、学生教育、大学運営などに携わせて頂き、全うできているか不安になりつつも、日々充実した気持ちで勤しんでいます。理科大の学生には幅広い視野と実力を身につけ、ひいては社会で活躍できる人材となつて欲しい

と願っております。そのためにも、今まで私が経験したことや学んだことを少しでも学生に伝えることができればと考えております。

専門は、鋼構造制振建物のガセットプレートが取付く接合部と合成梁の挙動に関する研究です。制振構造は、阪神大震災以降社会的需要の高まりと共に発展を遂げていますが、その歴史は比較的浅く、依然として様々な分析の余地があります。人命を守るだけでなく建築機能の保持や財産の保全を可能にする建物を普及させるためにも、今後も研究を進めていきたいと思っております。

私自身至らない点が多いので、OB・OGの皆様方からご指導ご鞭撻を賜れましたら幸いです。

退任助教のご挨拶

佐藤 利昭 (さとう としあき)

東京理科大学・野田キャンパスでは、学部4年、大学院2年、その後5年ほど外に出てPD1年、助教3年、合計で10年の月日を過ごしました。18歳で実家を出てから早15年、野田・流山・柏・松戸周辺を故郷に感じながら、この原稿がOB・OGの皆さまの目に触れられる頃には、福岡で生活をしています。2016年4月より九州大学にて専門である木質構造の研究室を持つことになりました。所属は少し複雑ですが、教員組織である九州大学大学院・人間環境学研究院に所属し、工学部と人間環境学府 (大学院) の学生たちと過ごしています。私が知る野田キャンパスの10年は、理工学部50年の後半に当たりますが、第1食堂、第2食堂さらに1号館のカナルがなくなり、講義棟、カナル会館ができました。細かい点では、コンビニが設置され、241教室もオープンスペースになるなど変化に富むものでした。今後の変化をこの会報にて見られることを楽しみに、時々訪れたいと思っています。

野秋 政希 (のあき まさき)

私は2003年4月から2016年3月までの間に東京理科大学・野田キャンパスに11年と半年過ごしました。このうち7年半は東京理科大学 理工学部建築学科 大宮喜文教授の研究室にお世話になり、主に建築火災安全に関する実験・研究を実施してまいりました。

東京理科大学・野田キャンパスには、火災科学に特化した研究装置等を有した施設として世界でも最大規模の実験棟があり、このような恵まれた環境のもと様々な経験を積むことができたことはこの上ない機会だったと思います。大宮喜文教授はもちろんのこと、この間に知り合った研究者や設計者、研究室の学生には多大なるご指導・ご協力を賜りました。ここに記して深甚の謝意を表します。

私は現在所属している 建築研究所は東京理科大学の連携大学院になっていることもあり、今後の理工学部建築学科の発展のために微力ながら貢献できればと考えています。

その他の退任助教

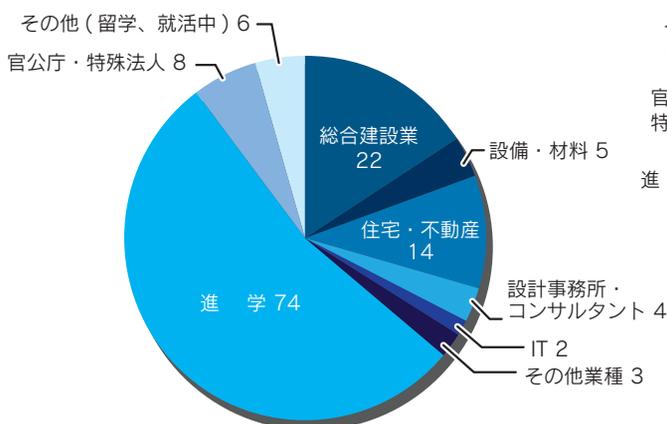
丹羽 由佳理 (伊藤研究室)

水野 貴博 (川向研究室)

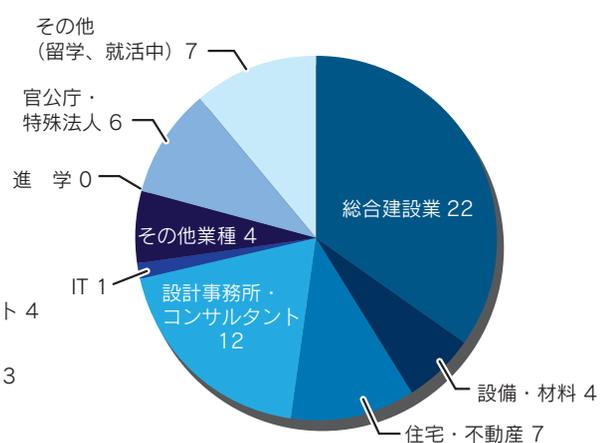
裴 晟哲 (兼松研究室)

2015 年度卒業生就職先グラフ

学部卒業生 (121名)



大学院修了生 (62名)

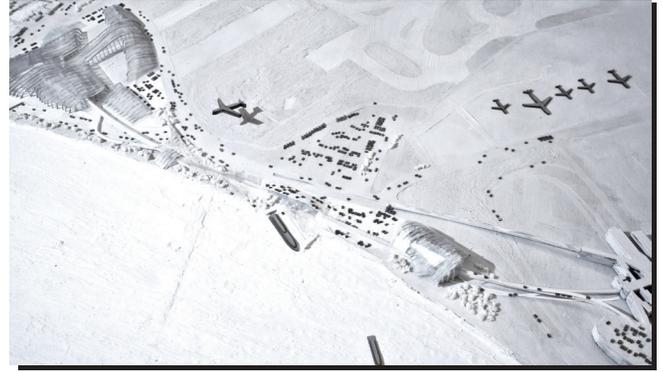


卒業設計賞受賞者紹介

受賞名：最優秀賞

受賞者：木村 友美 (きむら ともみ)

研究室：岩岡研究室



この度は卒業設計最優秀賞を頂きまして、大変光栄に存じます。制作期間はとても辛けれど、楽しい思い出になりました。担当教授である岩岡先生をはじめ、お世話になった方々のご支援ご指導によるものと、改めて感謝申し上げます。

受賞名：優秀賞

受賞者：山口薫平 (やまぐち くんぺい)

研究室：安原研究室

私は自分の出身地である、愛媛県松山市道後湯の町を対象敷地に、道後温泉本館の南側に位置する小高い冠山を、地元の人々のための公共施設として再生させる提案をしました。昔から馴染みのある町に対する提案をすることができ、優秀賞という評価をしていただけたので、良かったです。

受賞名：優秀賞

受賞者：中村遥 (なかむら はるか)

研究室：山名研究室

生まれ故郷である浦賀の再生は4年生の前期設計課題でも取り組んでいましたが、思うように解決策を考えることができず、不完全な状態で終わってしまいました。4年間の卒業設計では集大成として、私の原点となる場所を再生したいと願い、もう一度やり直すことにしました。その案に対してたくさんのコメントや、評価を頂くことができ、嬉しいです。今後はこの案を修正し、横須賀市に提案したいと考えています。指導して下さった先生、先輩、手伝ってくれた後輩、一緒に頑張った同期に感謝申し上げます。

NAA 賞 受賞者紹介



受賞者 左から

田中亮磨 (たなか りょうま)

佐藤航平 (さとう こうへい)

橋本由樹 (はしもと よしき)



作品紹介

ルール上は金物の使用も許可されていますが、この壁は木材のみで仕上げました。使用材料は主にケヤキで、はめ込まれている板のみスギを使用しています。自分たちで耐力壁の組み立て、解体を行う必要があるため施工のしやすさを第一に考え、貫と柱をベースにしたシンプルな造りとしています。柱を2本にすることで貫のめり込み面積を増やしています。そして板をはめ込むことで、柱や貫に対するめり込みが得られることを期待して設計しました。

受賞コメント

今回、このような賞をいただくことができ嬉しく思います。「木造耐力壁ジャパンカップ」は実大の木造耐力壁の組み立て、引き合わせての対戦、解体までの一連の作業をすべて自分たちで行う大会です。本年度が初参加ということもあり、壁の設計、材の調達・加工、運搬など様々なところで四苦八苦しましたが、関係者の方々のご協力のおかげで無事やり遂げることができ、このように評価していただくことができました。この場をお借りして感謝の意を示させていただきます。



NAA 賞授与式

6月29日(水)にOBと語る会(OBリクルーターと語る会)が実施されました。今回は、2名の講師(理科大のOB)をお招きし、主に各講師の仕事内容に関してご講演いただくと共に、建築学科主任の永野先生にもご挨拶の言葉をいただきました。

はじめに、東急建設(株)の大野芳俊様にご講演いただきました。多岐にわたるプロジェクトを例として挙げ、設計の工夫や課題をクリアするための解決策をご紹介いただきました。学生にとっては、設計の面白さや、やりがいや伝わるご講演だったと思います。



大野 芳俊 様

次に、高砂熱学工業(株)の坂上雅美様にご講演いただきました。会社の業務内容のご紹介に加え、施工管理を中心に各職種の仕事内容についてご説明いただきました。学生にとっては、ぼんやりとしかイメージできていなかった仕事内容がかなり具体化出来たのではないのでしょうか。



坂上 雅美 様

今回は、40名程度の学生が参加し盛況に終わりました。また、冒頭の永野先生のご挨拶の中で、次回から学部の講義の一環としてOBと語る会が行なわれることが発表されました。これにより、この会が学生とOBの交流をさらに活発化させ、今まで以上に刺激的かつ有意義な会になることを期待しています。

OBと語る会

NODA ARCHITECTURAL ASSOCIATION

大野芳俊 氏

生年月日:1964年
所属研究室:奥田研究室(1988年卒業、1990年修了)
現在の所属:
東急建設株式会社
建築本部 建築設計第四グループリーダー
日建連
設計企画部会委員、環境設計専門部会委員、サステナブル建築WG 主査

90年に東急建設に入社して以来、26年間建築設計を行ってきました。その経験の特徴として言えることは、設計分野の広さだと思います。分譲マンション、リゾートホテル、事務所、商業施設、医療施設、学校施設、福祉施設、清掃工場、生産施設、物流施設、神社・仏閣、遊戯施設とさまざまな施設の設計を経験してきました。ゼネコン設計者としては珍しいのではないのでしょうか?最近では日建連の委員として環境設計に積極的に取り組んでいます。設計活動における信条は建築の設計、建設を通じて『施主の夢を共に追う』ことです。

6月29日(水)
17:30~
2号館4階
オープンスペース

17:30~17:40
永野先生 ご挨拶

17:40~18:20
大野様 ご講演

18:20~19:00
坂上様 ご講演

19:00~20:00
懇親会(無料)

主催:
東京理科大学
野田建築会
(NAA)

坂上雅美 氏

生年月日:1979年
所属研究室:井上研究室(2001年卒業、2003年修了)
現在の所属:
高砂熱学工業株式会社
東京本店ファシリティ・ソリューション部営業課主査
設備設計一級建築士

東京理科大学大学院理工学研究科建築学専攻修了後、高砂熱学工業(株)入社。施工外勤、設計、人事(技術教育担当)を経て、昨年度より空調を中心とした省エネ改修等の提案営業や設計業務を行っています。「座右の銘」的なもの…
いつも心に3K(感謝、謙虚、気合)を!

OBと語る会ポスター

平成27年度 理工学部建築学科・理工学研究科建築学専攻 各賞受賞者一覧表

【理工学部建築学科】

| | | | |
|------------------|-------|-----|----------------|
| 卒業論文賞 (一般コース) | 最優秀 | 吉澤研 | 森 知史 |
| | 優 秀 | 山名研 | 中村 遥 |
| | 優 秀 | 岩岡研 | 木村 友美 |
| 卒業論文賞 (通年コース) | 最優秀 | 川向研 | 大倉 康平 高力 慧 |
| | 最優秀 | 兼松研 | 佐藤 愛香 山口 大貴 |
| | 優 秀 | 川向研 | 坂野 竜朗 山崎 健治 |
| | 優 秀 | 吉澤研 | 嶋澤 拓真 |
| | 優 秀 | 衣笠研 | 堂前 賢太 米山 周水 |
| | 優 秀 | 北村研 | 付慧鑫 |
| | 卒業設計賞 | 最優秀 | 岩岡研 |
| | 優 秀 | 安原研 | 山口 薫平 |
| | 優 秀 | 山名研 | 中村 遥 |

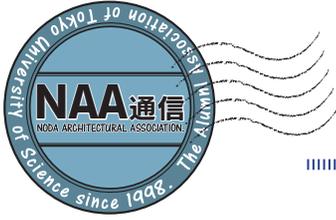
| | | | |
|-------|-----|-----|-------|
| 学業優秀賞 | 1 位 | 北村研 | 臼田 雄作 |
| | 2 位 | 井上研 | 向島 希 |
| | 3 位 | 北村研 | 成田 冴子 |

【理工学研究科建築学専攻】

| | | | |
|-------------|-------|-----|--------|
| 修士設計賞 | 最優秀作品 | 安原研 | 齋藤 直紀 |
| | 優秀作品 | 安原研 | 遠藤 優斗 |
| | 優秀作品 | 安原研 | 村松 佑樹 |
| 修士研究 奨励賞 | 最優秀賞 | 永野研 | 渡邊 藤一郎 |
| | 優秀賞 | 北村研 | 上島 洋毅 |
| | 優秀賞 | 永野研 | 天藤 潤一 |
| | 優秀賞 | 北村研 | 渡辺 泰成 |

【共 通】

| | | |
|-------|-----|-------|
| NAA 賞 | 永野研 | 田中 亮磨 |
| | | 佐藤 航平 |
| | | 橋本 由樹 |



- ◆ 野田建築会は理窓会関連団体に登録されました。
- ◆ メールマガジンが学科 CLASS メールに配信されます。
- ◆ 協賛の利根運河シアターナイト 2016 が 8 月 27 日（土）に開催されました。
- ◆ 野田建築 50 周年 OB/OG 委員会第 3 回が 9 月 10 日（土）に開催され、各 WG の活動が本格化しています。
- ◆ 「OB と語る会」と 1 年生必修科目「キャリア支援セミナー」の協同開催

10 月 19 日 2 時限、11 月 16 日 5 時限（終了後懇親会）、2017 年 1 月 18 日 2 時限の 3 回

※次号 2017 年 SPRING にて開催報告

【イベント情報】

『理工系の基礎 建築学—国立西洋美術館から学ぶ』（丸善出版社）出版記念講演会

日時 10 月 16 日（日）15：00～17：00

場所 神楽坂キャンパス 2 号館 211 教室 参加無料

国立西洋美術館の世界遺産登録に尽力された理工学部建築学科山名善之教授を始め、理工学部および工学部建築学科教員が登壇します。この機会に卒業生の皆様もご参加ください。（講演終了後懇親会予定 会費千円）

東京理科大学ホームカミングデー 2016 in 葛飾キャンパス

日時 10 月 30 日（日）10：00～17：00

場所 葛飾キャンパス 参加無料

卒業 50 周年祝賀および卒業 40・30・20・10 周年の招待懇親会が開催されます。

詳細・懇親会申し込みは <http://tus-alumni.risoukai.tus.ac.jp/>

上原研究室 OB 会

日時 11 月 19 日（土）12：30～15：00

場所 船橋グランドホテル B F 梅の間 会費 1 万円

2017 年築理会野田建築会第 2 回合同新年会

日時 2017 年 1 月 18 日（水）18：30～20：30

場所 PORTA 神楽坂 6 階理窓会倶楽部 会費 3 千円

NAA からのお知らせ

【会費納入のお願い】

NAA では会則により、2016 年度（2016 年 4 月 1 日～2017 年 3 月 31 日）の普通会員年会費として 3,000 円を徴収しています。これらは会報の発行、OB と語る会の開催、見学会等の研修、NAA 賞の授与、NAA サイトの維持その他 NAA の活動に有効に活用されています。こうした NAA の運営に向け、同窓生の皆様のご理解とご協力をいただき、同封の振込用紙にて会費納入をお願いいたします。（お手数ですが、納入者確認のため、振込用紙には卒業年を必ずご記入ください）

※会費納入がない場合は、今号を最終発送とする場合があります。

野田建築会会報 VOL.36 2016 AUTUMN

2016 年 9 月 30 日

編集：会報部会

発行：東京理科大学野田建築会

郵便振替 口座番号 00130-9-27644 東京理科大学野田建築会

お問合せおよびメルマガ登録はこちらから——

<http://www.rikadaikenchiku.com>